

(様式第4号)

上田市総合計画審議会（第2回全体会） 会議概要

1 審議会名	上田市総合計画審議会（第2回全体会）
2 日時	令和6年8月26日 午後2時00分から午後3時00分まで
3 会場	市役所本庁舎 5階 大会議室
4 出席者	原有紀会長、西入直喜副会長、中村彰委員、柳沢裕子委員、安藤健二委員、井上拓磨委員、山本幸恵委員、葛西剣介委員、羽田司委員、宮嶋絵美子委員、西藤直義委員、唐澤信広委員、宮崎涼委員、水寄歩実委員、荒川玲子委員、鳥羽泰之委員、永井理恵委員、高橋比呂美委員、城田真裕委員、関綾音委員、中島冬陽委員、竹花のり子委員、丸山宏尚委員
5 市側出席者 （部局長・課室 長のみ記載）	大矢政策企画部長、倉島総務部長、鎌原財政部長、山賀市民まちづくり推進部長、田中環境部長、北島福祉部長、室賀健康こども未来部長、北沢産業振興部長、小林文化スポーツ観光部長、佐藤都市建設部長、宮原防部長、中村丸子地域自治センター長、北沢真田地域自治センター長、酒井武石地域自治センター長、宮島上下水道局長、小野沢教育次長、片山秘書課長、山田危機管理防災課長、和根崎櫓復元推進室長、清住政策企画課長兼学園都市推進室長、宮島広報課長、山崎総務課長、根岸財政課長、堀内市民参加・協働推進課長、山田移住交流推進課長、西澤環境政策課長、柳沢福祉課長、櫻井健康推進課長、翠川商工課長、小林文化政策課長、宮沢観光シティプロモーション課長、竹内管理課長、木内住宅政策課長、松木消防総務課長、春原丸子地域自治センター次長兼丸子地域振興課長、小林真田地域自治センター次長兼真田地域振興課長、鈴木武石地域センター次長兼武石地域振興課長、緑川経営管理課長、町田教育総務課長、上原生涯学習・文化財課長
6 公開・非公開	☒ 公開 ・ ☐ 一部公開 ・ ☐ 非公開
7 傍聴者	1人 記者 1人
8 会議概要作成年月日	令和6年9月10日

協 議 事 項 等
1 開会（大矢政策企画部長）
2 会長あいさつ（原会長）
3 報告事項（以降進行：原会長） （1）市民アンケート調査結果について （2）各種 WEB アンケート調査結果について ・資料に沿い、清住政策企画課長から市民アンケート調査結果、各種 WEB アンケート調査結果について説明 ・以下、質疑応答 （委 員） 調査結果は総合計画を作成する上で参考にするということで間違いないか。その上で、転出者がなぜ戻って来ないのかというデータが参考になると思うが、そのデータが抜け落ちている。データの取得が難しいのは承知しているが、これから行政を維持していく為には、転出者が上田市に戻ってくるのを重要視しないといけない。ジェンダーギャップがある都市ほど女性流出が高いが、転出する人が戻って来ない意見を聞かないとずっと流出が続いていく。その辺りを調査していく意向はあるか。 （事務局） 結果が取りづらい調査ではあるが、基礎調査・分析／評価の中で、若い世代が一度転出を

して5年後に帰ってくる割合をみると、ここ数年ではかなり帰ってきているという結果が出ている。様々な理由があるが、当然ご指摘の点も重要な観点という認識はある。

(委 員) 転入者アンケートの回答数が189とあるが、5年～10年という期間で見た時に、転入者全体ではどのくらいか。

(事務局) 事業を行った成果として移住いただいた人数は、市としてある程度認識している。アンケートでは、就職などに伴い転入された方も回答している。移住者＝転入者と捉えてよいか疑問はあるが、どのくらいの人数か正確な把握は難しい。

(委 員) 愛着度をみる指数として、高校生や大学生のアンケートに「上田市が好きか」という設問の項目がなかったのが残念。最近愛着度の高さがその後の市内への就職につながる傾向にあるので、設問としてあったほうがよい。

(事務局) 小中学生のアンケートについては、「上田市が好きか」という設問を設けたが、高校生以降は設けていなかったもので、今後の参考にしたい。

(3) 基礎調査・分析／評価について

- ・資料に沿い、清住政策企画課長から基礎調査・分析／評価について説明

- ・以下、質疑応答

(委 員) 社会増減の流出改善について、外国人も入っているのか。

(事務局) 入っているが行政における調査が入った職権的な抹消という要因も入ってくるので、外国人を含めた人口の増減が改善しているかどうかはつかめない状況。現況の数字を載せている。

(委 員) 3.1%という数字は、現状維持なのか増加しているのか。

(事務局) 傾向としては、リーマンショック時に一度急激に下がった時代がある。その後は漸次的に増えており現在の状況となっている。コロナ以降も外国人の転入者が増えており、少しずつ増えている状況と認識している。

(委 員) 合計特殊出生率について、2015年までは平均値を上回っているが、2016年に急激に下がって以来下回っているのは、計算上以外の別の要因が考えられるのか。

(事務局) 確認したい。

4 協議事項

(1) まちづくりビジョン（素々案）について

- ・資料に沿い、清住政策企画課長からまちづくりビジョン（素々案）について説明

- ・会長より提案事項

(会 長) 策定期間が長期間に及びかつ審議の時間も限られる事から、手元にある用紙に意見を記入し送付頂くようにしたいと思うがいかがか。

○提案事項：異議なし

(2) 重視する『5つの視点』（案）について

- ・資料に沿い、清住政策企画課長から重視する『5つの視点』（案）について説明

- ・以下、質疑応答

(委 員) さまざまな点が網羅されておりよいと思うが、「女性が自分らしくどう生きられるのか」が問われており、男女共同参画の視点はこれからの自治体のあり方として非常に重要。「男女共同参画」が進まないというのはどの地方でも抱えている問題。どの政策においても「男女共同参画」をもっとレベルを高く上げるべきだと考えており、そういう観点を入れられるようであれば考慮していただけるとありがたい。

(事務局) 「市民協働推進」の中には当然ながら「男女共同参画」も意識として入っているので、言葉としても入れるようにしたい。場合によっては、タイトルにも入れるかどうか検討したい。

(委 員) 「男女共同参画」は「市民協働」の中に入ることが多いが、それだと「市民協働」の域を越えないが、教育・経済・産業すべてにおいて「男女共同参画」を進めていかなければいけ

ない。進んでいる自治体を見るとジェンダーギャップ対策室みたいなものをしっかり定義しているので、「男女共同参画」は「市民協働」から出すべきだと考える。
(事務局) ご意見も含めて検討したい。

5 事務連絡

(1) 本日の部会について

(2) 次回全体会について

日 時：令和6年11月15日（金）午後1時30分から

場 所：市役所本庁舎5階大会議室

6 閉会